

款	消防費	項	消防費			
事業名	消防団車庫整備事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	3 市民の生命と財産を守る消防・救急の充実					
施策の内容	1 消防力の充実					
H26決算額	21,210千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				19,600千円		1,610千円

【事業の概要】

老朽化した消防団(第34分団)詰所及び車庫の解体及び新築を行いました。

[平成26年度決算額]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事費等	21,210	《新築》 下坂田474番地1 軽量鉄骨造2階建 63.82㎡ 《解体》 下坂田474番地1 ブロック造平屋建 42.00㎡



土浦市消防団第34分団車庫

【事業の成果】

消防団の消防活動拠点である消防団車庫の整備を図ることにより、消防体制の充実及び消防団の活性化と消防団員の士気高揚に寄与しました。

款	消防費	項	消防費			
事業名	常備消防車両更新事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	3 市民の生命と財産を守る消防・救急の充実					
施策の内容	1 消防力の充実					
H26決算額	47,648千円	財源内訳	国県支出金 2,726千円	地方債 41,300千円	その他	一般財源 3,622千円

【事業の概要】

消防車両を2台購入し、老朽化した消防車両の更新を行いました。

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
高規格救急自動車	38,479	神立消防署配置 平成17年度購入車両の更新
人員搬送車 ※緊急消防援助隊登録車両	9,169	荒川沖消防署配置 平成2年度購入車両の更新
合 計	47,648	



高規格救急自動車



人員搬送車

【事業の成果】

消防力の基幹である消防車両の計画的な更新整備をすることにより、消防体制が充実し、安心・安全なまちづくりに寄与することができました。

款	消防費	項	消防費			
事業名	消防救急無線のデジタル化等共同整備事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	3 市民の生命と財産を守る消防・救急の充実					
施策の内容	3 消防救急無線デジタル化共同整備等の推進					
H26決算額	125,984千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				125,200千円	784千円	

【事業の概要】

消防救急無線のデジタル化方式への移行整備及び共同指令センターの整備を、県内の消防本部が共同で実施することにより、整備費用の削減及び119番通報の集約化と出場体制の増強を図り、大規模災害に強い指令体制を構築します。

(1) デジタル化無線整備事業

消防救急無線をデジタル化することにより、車両の位置情報や水利情報、画像情報等のデータ伝送ニーズへの対応を図ります。

○整備内容

県内21消防本部 (34市町)	各消防本部共同購入
基地局 30局 移動局560局	車載無線機等
本市(基地局1局 移動局35局)	遠隔制御器

※つくば市参加

(2) 共同指令センター整備事業

消防救急無線を、共同で運用することにより、車両管理の一元化による初動体制の強化を図ります。また、複数の消防署に対して同時に出勤要請をすることや、災害発生時からの状況把握による、規模の拡大や不測の事態に迅速・的確に対応します。

○整備内容

県内20消防本部 (33市町)	各消防本部共同購入
指令システム 指令台9台 指揮台1台	署所端末装置
消防OAシステム(センター内)	各車両設置装置
	消防OAシステム(本部・署所分)

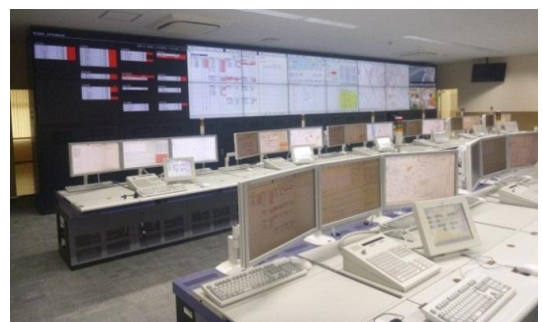
○設置場所

水戸市内原町1395番地の1
配置人員 56人 (本市4人派遣)

○習熟訓練

消防救急無線のデジタル化及び通信指令業務に伴い、いばらき消防指令センター、消防本部、隊員等の活動に支障がないよう、事前に十分な習熟訓練を行います。

- ①いばらき消防指令センター総合習熟訓練
- ②消防本部無線機器習熟訓練
- ③消防本部実践習熟訓練



「いばらき消防指令センター」

【事業の成果】

消防力の基幹である消防施設、通信機器を整備することにより、通信の秘匿性の向上と、患者の傷病情報等の伝送を行う際の個人情報保護機能を強化します。

また、車両運用の効率化や支援情報を高度化し、現場への到着時間の短縮や大規模災害等における対応力が強化されます。

さらに、共同で整備を行うことにより、設備の導入費用を削減し消防体制の充実及び安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	消防費	項	消防費			
事業名	新消防庁舎整備事業 《合併特例債事業》					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	3 市民の生命と財産を守る消防・救急の充実					
施策の内容	6 消防本部新庁舎の整備					
H26決算額	715,269千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				678,100千円		37,169千円

【事業の概要】

昭和41年に竣工して以来49年が経過し、老朽化、狭あい化した消防庁舎を建て替え、多種多様化する災害に対応できる消防拠点としての新消防庁舎を建設します。

[事業進捗状況]

◎基本実施設計委託

平成25年4月 プロポーザル最優秀者と委託契約を実施し設計を開始しました。

平成25年11月 基本設計がまとまり、実施設計に着手しました。

◎建設用地の取得

平成26年1月 建設用地の取得を完了しました。

◎設計完了

平成26年5月 実施設計が完了しました。

◎建設準備工事

平成26年6月 建設準備工事(地盤改良工事)に着手し、平成26年12月に工事完了しました。

◎建築主体工事

平成26年9月 建築工事に着手し、平成27年度中の完成に向け、工事を進めています。

[平成25年度からの繰越分]

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
委 託 料	89,670	基本実施設計委託料
合 計	89,670	

[平成26年度]

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
旅 費	56	工場検査
需 用 費	20	免震構造大臣認定用収入印紙
役 務 費	1,740	計画通知手数料等
委 託 料	6,335	基本実施設計・工事監理委託料
工事請負費	616,174	新消防庁舎建設工事費
負担金及び交付金	1,274	配水管取出工事負担金
合 計	625,599	

[平成27年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
工事請負費	687,133	新消防庁舎建設工事費
合 計	687,133	



外観イメージ



敷地全体イメージ

【事業の成果】

消防力の基幹である消防庁舎を新たに整備することにより、消防体制の充実を図り、安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	消防費	項	消防費			
事業名	緊急消防援助隊支援資機材整備事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	3 市民の生命と財産を守る消防・救急の充実					
施策の内容	1 消防力の充実					
H26決算額	4,298千円	財源内訳	国県支出金 2,013千円	地方債	その他 2,285千円	一般財源

【事業の概要】

東日本大震災等の大災害発生時には、茨城県下の消防本部合同で緊急消防援助隊を組織し、被災地に派遣しました。今後起こり得る大災害を想定し、緊急消防援助隊の活動強化を目的として、野営等に必要な資機材を整備しました。

(単位：千円)

区分	事業費	購入資機材
備品購入費	4,298	エアーテント ポータブルヒーター 気化式冷風機 リチウムイオン蓄電池 簡易トイレ



エアーテント

【事業の成果】

緊急消防援助隊設備を充実させることにより、広域的な消防活動、災害支援の強化に寄与しました。

款	教育費	項	教育総務費				
事業名	「小中一貫教育」推進事業						
施策の大綱	2-5 心の豊かさやたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり						
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実						
施策の内容	3 教育内容の充実						
H26決算額	16,277千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源	16,277千円

【事業の概要】

子どもの連続的な学びを創造する小中一貫教育の在り方について、各小中学校において、それぞれの学区の状況や特性に応じた取組を進めています。これまで、合同あいさつ運動、小学校で夏休みに実施している「学びの広場」への中学生の協力等、小学校と中学校の連携強化、系統的な指導を推進してきました。

本年度は、小中一貫教育を更に推進するため、各中学校に小中一貫教育推進非常勤講師を配置しました。これにより、中学校の先生が小学校に出向いて専門性の高い授業を行ったり、小中一貫教育活動に関する計画・協議を充実させることができました。また、小中一貫交流会を実施し、小学生が中学校に集まって他校の小学生や中学生と交流を深めるなど、充実した活動を展開することができました。

なお、小中一貫教育の柱の一つである学力の向上については、電子黒板やデジタル教科書を活用し、児童生徒が主体的に取り組むことができる授業を推進しています。さらに、タブレットや交流学习ツールを活用しながら、多様な考えにふれ、思考力・判断力・表現力を向上できるような授業展開の工夫に努めています。



ICTを活用した交流活動



非常勤講師の活用による出前授業の充実



小学生と中学生の交流活動

(単位：千円)

区分	事業費	概要
報酬	10,071	小中一貫教育推進非常勤講師 (市内8中学校 8人)
報償費	10	小中一貫教育アドバイザー謝礼
需用費	3	小中一貫教育に係る参考図書購入
委託料	4,752	情報教育サポーター委託料
使用料及び賃貸料	97	小中交流会バス借り上げ料
備品購入費	1,344	デジタル教科書購入
合計	16,277	

【事業の成果】

本市における小中一貫教育を推進していく上での課題について追究しながら、具体的な方策について実践的な取組を進めることができました。市内のそれぞれの中学校区で特色ある教育活動を展開することができ、特に、交流活動の後には、多くの児童生徒から喜びや達成感を感じたという感想を聞くことができました。

今後は、本市独自の小中一貫教育の在り方を追究していくため、小中一貫教育運営協議会や小中一貫推進主任会を中心に、全市的な研究、実践を進めていきます。

款	教育費	項	小学校費			
事業名	新しい学校づくり支援事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施策の内容	1.1 小中学校の適正配置					
H26決算額	2,547千円	財源内訳	国県支出金 1,281千円	地方債	その他	一般財源 1,266千円

【事業の概要】

平成26年4月に土浦小学校と宍塚小学校が統合したことに伴い、児童のより良い教育環境を充実させる観点から、きめ細やかな学習指導及び児童の心のケアを実施するため、土浦小学校に非常勤TT講師を配置しました。

年度当初に非常勤講師1人を配置しましたが、7月からは県の緊急雇用創出事業補助金の活用により、さらに1人を追加配置することで、ティーム・ティーチング（TT）や少人数指導などを充実し、児童の学力向上に向けて取り組みました。

未来を担う子供たちのために取り組みます

<非常勤講師の配置>

非常勤講師等の措置

措置人数：1人

- ・きめ細やかな学習指導の充実
- ・不安や悩みを抱える児童や保護者への対応
- ・児童の心のケアの充実

新しい学校づくり
教育環境の充実



<緊急雇用創出事業補助金の活用>

非常勤講師等の措置

措置人数：1人

- ・ティーム・ティーチングや少人数教育の指導の充実

[平成26年度事業費]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
報酬	2,547	新しい学校づくりTT非常勤講師

【事業の成果】

宍塚地区から通学する児童を含む土浦小学校の児童は、仲良く元気に生活を送ることができました。また、日を追うごとに緊張も解けてきて、学習や運動に前向きに頑張る姿を見ることができました。

児童や保護者が、身近な先生に不安や悩みを相談することができる環境があることにより、新しい学校でスムーズに生活することができました。

款	教育費	項	小学校費			
事業名	小学校スクールバス運行委託事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施策の内容	1.1 小中学校の適正配置					
H26決算額	18,619千円	財源内訳	国県支出金 1,047千円	地方債	その他	一般財源 17,572千円

【事業の概要】

小学校の適正配置等の実施により、通学距離が遠距離になる児童への対応として、通学の安全確保などを図るため、小学校のスクールバスの運行基本方針及び運行管理要綱を制定し、運行を実施しました。

[運行概要等]

(単位：千円)

小学校名 (運行地区)	事業費 (委託料)	概 要
土浦小学校 (宍塚地区)	8,736	全地区をスクールバス運行の対象とし、運行ルートは矢作地区・飯田地区・佐野子地区と宍塚地区・粕毛地区の2ルートとし、バス2台で運行しました。 なお、学校の統合により、通学距離が4km以上になる児童がバスを利用する場合には、運行経費に対する国の助成を受けることができました。 (歳入) へき地児童生徒援助費等補助金…1,047千円
土浦小学校 (虫掛地区)	4,909	運行している路線バスが廃線になったため、同じルートを、バス1台で運行しました。
都和小学校 (栗野・今泉・ 小山崎地区)	4,974	路線バスの廃線により、平成20年度からスクールバスを運行していますが、引き続き同じルートをバス1台で運行しました。
合 計	18,619	

※各小学校とも低学年と高学年では授業終了時間が異なることから、帰りは2便を運行しました。

【事業の成果】

遠距離通学をしている児童の通学手段及び安全確保が図られ、児童が安心して学校に登下校することができました。

款	教育費	項	小学校費			
事業名	土浦小学校校舎及び屋内運動場改築事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施策の内容	10 学校施設の整備・充実					
H26決算額	316,712千円	財源内訳	国県支出金 35,558千円	地方債 184,900千円	その他	一般財源 96,254千円

【事業の概要】

老朽化が進んでいる土浦小学校の校舎及び屋内運動場の改築計画を進めている中で、事業最終年度の平成26年度は、既存校舎の解体工事や前年度に完成した建物の周囲の外構工事が竣工しました。

[事業計画]

平成22年度	基本設計 プロポーザル選定委員会を設置し、設計事務所を選定
平成23年度	敷地測量 実施設計 地質調査 工事着工
平成24年度～ 平成25年度	土浦小学校校舎及び屋内運動場改築建築主体、電気設備、 機械設備、昇降機設備工事、空気調和設備工事 旧土浦幼稚園園舎解体工事
平成26年度	土浦小学校改築に伴う第1期解体工事、工事監理、 仮設校舎賃貸借 既存校舎及び屋内運動場解体工事、門・塀整備工事、 グラウンド整備工事

[平成26年度事業費内訳]

(単位：千円)

区分	事業費			概要
	繰越分	当初予算	小計	
委託料	2,268	890	3,158	工事監理・児童安全警備
工事請負費	121,630	191,592	313,222	解体、グラウンド整備等
その他	0	332	332	事務費等
合計	123,898	192,814	316,712	

◎全体事業費 3,193,177 千円



土浦小学校 全景



土浦小学校 正門付近

【事業の成果】

平成22年度から着手した本事業については、平成26年2月から新校舎にて授業が開始され、平成26年度は既存校舎解体や外構工事等を施工し、平成27年2月に竣工記念式典を挙りました。これにより全ての事業が完了し、子どもたちの安全確保及び良好な学習環境を提供できることとなりました。

款	教育費	項	小学校費			
事業名	都和小学校校舎改築事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施策の内容	10 学校施設の整備・充実					
H26決算額	223,095千円	財源内訳	国県支出金 41,033千円	地方債 142,700千円	その他	一般財源 39,362千円

【事業の概要】

都和小学校については、学習環境の改善を推し進めるため、老朽化が進んでいる校舎の改築計画を進めています。

平成26年度は、前年度に完了した実施設計を基に、校舎改築工事に着手しました。

[事業計画]

平成24年度	基本設計 プロポーザル選定委員会を設置し、設計事務所を選定 敷地測量
平成25年度	実施設計、地質調査
平成26年度～	都和小学校校舎棟改築に係る第1期解体、建築主体、電気設備、 機械設備、昇降機設備、空気調和設備の各工事 着工 (平成28年1月完成予定)

[平成26年度事業費内訳]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	1,690	工事監理
工事請負費	220,928	建築主体工事等
その他	477	事務費等
合計	223,095	

◎平成26年度～平成27年度 継続費設定 1,708,670千円

〈計画建物〉

- ・構造 鉄筋コンクリート造
- ・階数 3階建て
- ・延床面積 5,214㎡
- ・教室内訳 普通教室18室、特別支援学級4室、図工室、家庭科室、図書室、
コンピュータ教室、音楽室、理科室、多目的教室等



都和小学校 完成予想図



都和小学校 工事現況

【事業の成果】

改築整備により建物の耐震・耐久性を確保するとともに、学習環境の改善を推し進めるため、平成26年7月から新校舎の工事に着手し、現在建築中です。

平成28年1月に新校舎が竣工する予定であり、これにより子どもたちへの安全で良好な学習環境を提供することができるようになります。

款	教育費	項	小学校費
---	-----	---	------

事業名	第二小学校屋内運動場改築事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施策の内容	10 学校施設の整備・充実					
H26決算額	89,332千円	財源内訳	国県支出金 14,725千円	地方債 60,200千円	その他	一般財源 14,407千円

【事業の概要】

老朽化が進んでいる第二小学校屋内運動場の改築を行い、災害時の避難場所にも指定されている建物の耐震性・耐久性を確保するとともに、学習環境の改善を図ります。
平成25年度に実施設計が完了し、平成26年度は改築工事に着手しました。

[事業計画]

平成25年度 実施設計
地質調査
平成26年度～ 建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事 着工
(平成28年1月完成予定)

[平成26年度事業費内訳]

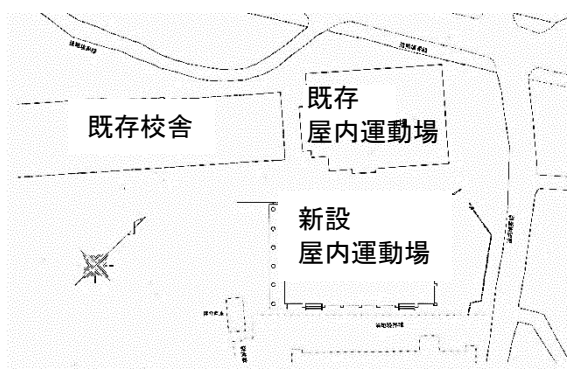
(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	1,798	工事監理
工事請負費	87,303	建築主体工事等
その他	231	事務費等
合計	89,332	

◎平成26年度～平成27年度 継続費設定 425,071千円

〈計画建物〉

- ・構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
- ・階数 1階建て
- ・延床面積 958㎡



第二小学校 屋内運動場 配置図



第二小学校 屋内運動場
工事現況

【事業の成果】

改築整備により建物の耐震・耐久性を確保するとともに、学習環境の改善を推し進めるため、平成26年9月より新屋内運動場の工事に着手し、現在建築中です。

平成28年1月に新屋内運動場が竣工する予定であり、これにより子どもたちへの安全で良好な学習環境を提供することができるようになります。

款	教育費	項	小学校費・中学校費・幼稚園費								
事業名	小・中学校・幼稚園施設耐震化事業										
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくまさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり										
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実										
施策の内容	10 学校施設の整備・充実										
H26決算額	959,174千円	財源内訳	<table border="1"> <tr> <td>国県支出金</td> <td>地方債</td> <td>その他</td> <td>一般財源</td> </tr> <tr> <td>382,291千円</td> <td>535,700千円</td> <td></td> <td>41,183千円</td> </tr> </table>	国県支出金	地方債	その他	一般財源	382,291千円	535,700千円		41,183千円
国県支出金	地方債	その他	一般財源								
382,291千円	535,700千円		41,183千円								

【事業の概要】

耐震補強工事が必要な学校校舎や幼稚園園舎などを、年次計画に沿って補強工事を進めるとともに、老朽化した施設の質的整備を行うことにより、安心安全に学校生活を過ごせるよう学習環境の向上を図ります。

平成26年度は、中学校2校の校舎について耐震補強工事の実施設計を行うとともに、小学校3校及び幼稚園1園の耐震補強工事を実施しました。

[事業内容]

耐震補強及び大規模改造工事实施設計 (単位：階、㎡、棟)

学校名	構造	階数	延床面積	棟数
土浦第一中学校	鉄骨造	1	338	1
土浦第五中学校	鉄筋コンクリート造	3	3,826	3

耐震補強及び大規模改造工事(工事監理も併せて実施) (単位：階、㎡、棟)

学校名	構造	階数	延床面積	棟数
下高津小学校	鉄筋コンクリート造	3	5,274	5
荒川沖小学校	鉄筋コンクリート造	3	4,918	4
右廻小学校	鉄筋コンクリート造	3	4,903	3
大岩田幼稚園	鉄筋コンクリート造	2	688	1

[平成26年度事業費内訳]

(単位：千円)

区分	事業費			概要
	繰越分	当初予算	小計	
委託料	24,138	21,589	45,727	実施設計・工事監理
工事請負費	913,441	0	913,441	耐震補強及び大規模改造工事
その他	6	0	6	事務費等
合計	937,585	21,589	959,174	



下高津小学校



荒川沖小学校

【事業の成果】

耐震補強及び大規模改造工事を実施することにより、小学校3校及び幼稚園1園の耐震性が向上し、児童・生徒の安全確保及び学習環境の改善を図ることができました。

款	教育費	項	小学校費・中学校費			
事業名	小学校・中学校施設非構造部耐震化事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさやたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施策の内容	10 学校施設の整備・充実					
H26決算額	23,922千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 23,922千円

【事業の概要】

東日本大震災の被害状況を受け、児童生徒等の安全確保のため、屋内運動場の天井材や内外装材の落下防止等対策を講じます。

平成26年度は、吊り天井を有する小・中学校10校を調査し、天井撤去等の実施設計を行いました。

[事業内容]

非構造部耐震化調査及び実施設計

(単位：階、㎡、棟)

学校名	構造	階数	延床面積	棟数
神立小学校	鉄筋コンクリート造	2	976	1
都和南小学校	鉄骨造	2	969	1
乙戸小学校	鉄骨造	2	794	1
土浦第一中学校	鉄筋コンクリート造	3	1,353	1
土浦第二中学校	鉄筋コンクリート造	2	1,207	1
土浦第三中学校	鉄筋コンクリート造	2	1,224	1
土浦第四中学校	鉄筋コンクリート造	2	1,397	1
土浦第五中学校	鉄筋コンクリート造	2	1,226	1
土浦第六中学校	鉄筋コンクリート造	2	1,064	1
都和中学校	鉄筋コンクリート造	2	1,064	1

[平成26年度事業費内訳]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	23,922	調査・実施設計



都和中学校 現況



都和南小学校 現況

【事業の成果】

平成27年度工事予定の学校について、非構造部の現況把握や実施設計が完了しました。

平成27年7月頃から10月頃にかけて順次工事を発注し、非構造部の落下防止対策を講じます。

耐震性能の向上につながり、児童生徒等の安心完全な学校生活に寄与するとともに、学習環境の向上が図られます。

款 教育費 項 小学校費・中学校費

事業名	新治地区小中一貫教育学校整備事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実					
施策の内容	10 学校施設の整備・充実					
H26決算額	10,203千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 10,203千円

【事業の概要】

藤沢小・斗利出小・山ノ荘小の3小学校を1校に統合し、新治中学校敷地内に既存校舎、屋内運動場棟を活用して、本市初の施設一体型の小中一貫校を整備します。

平成26年度は、整備基本計画策定委員会を設置し、各校の現状を踏まえての施設規模や施設整備の基本方針、施設配置案等について協議しました。

[事業内容]

新治地区小中一貫教育学校 対象校
(単位：人，学級)

学校名	児童生徒数	学級数
藤沢小学校	241	12
斗利出小学校	49	5
山ノ荘小学校	94	8
小計	384	25
新治中学校	205	8
合計	589	33

平成30年4月開校時の推計値

(単位：人，学級)

学校名	児童生徒数	学級数
小学校分	362	14
中学校分	198	8
合計	560	22

※平成26年5月1日現在。学級数には特別支援学級数含む。

[平成26年度事業費内訳]

(単位：千円)

区分	事業費			概要
	繰越分	当初予算	小計	
委託料	4,212	5,670	9,882	基本計画策定業務
その他	0	321	321	事務費等
合計	4,212	5,991	10,203	

[平成27年度への繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	16,354	基本・実施設計

◎平成26年度～平成27年度 継続費設定 54,512千円



新治中学校 現況



校舎配置案

【事業の成果】

平成26年度に新治地区小中一貫教育学校整備基本計画策定委員会を設置し、3小学校及び1中学校の現状、既存校舎を活用した施設一体型小中一貫校の整備にあたっての方針等を協議し、既存中学校校舎に平行して新校舎を配置する「平行配置案」を選定し、これを基に基本設計・実施設計に着手しました。

今後は平成30年4月の開校を目指し、新校舎建築・既存校舎及び屋内運動場改造・グラウンド整備等を進め、本市初の施設一体型小中一貫校として良好な学習環境の確保を図ります。

款	教育費	項	小学校費・中学校費				
事業名	学校IT推進事業						
施策の大綱	2-5 心の豊かさやたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり						
施策名	1 生きる力を育む学校教育の充実						
施策の内容	3 教育内容の充実						
H26決算額	15,915千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源	15,915千円

【事業の概要】

児童生徒のコンピュータを活用した授業推進を図るため、平成21年度に整備した小・中学校のパソコン教室等のコンピュータ機器を、リース満了に伴い更新しました。

[更新対象校]

小学校6校（土浦小，下高津小，中村小，藤沢小，斗利出小，山ノ荘小）
 中学校7校（土浦一中，土浦二中，土浦三中，土浦四中，土浦五中，土浦六中，都和中）

[機器整備概要]

	事業費 (使用料及び賃借料)	概要
小学校	7,070	リース期間満了に伴い、小学校6校及び中学校7校のパソコン教室及び普通教室に設置しているコンピュータ機器を更新しました。また、教室以外でのコンピュータ機器の活用を狙い、タブレットを整備しました。
中学校	8,845	

【事業の成果】

◎中村小学校の実践例

導入したソフトウェアを利用して、理科の授業において実験結果をグループごとに考察したり、その結果を全体で共有したりする学習に活用しました。

<p>実験結果をもとに考察する</p>  <p>前時の実験動画や写真などをタブレットで参照しながら考察を深める。</p>	<p>グループで話し合う</p>  <p>グループの意見をまとめ、提示する動画や写真をタブレットで選ぶ。</p>	<p>電子黒板で全体共有する</p>  <p>選んだ動画や写真を電子黒板で表示し、手書きのシートも組み合わせつつ、グループの意見を発表する。</p>
--	--	--

◎土浦第三中学校の実践例

導入したコンピュータ機器を活用して、保健体育科の授業において相互に運動の様子を記録し、動きの違いを検討したり、新しい工夫された練習に生かすことができました。

<p>模範演技でポイントをつかむ</p>  <p>模範演技の映像で技のポイントをつかむ。後から自分の技と見比べることもできる。</p>	<p>互いの技を撮影する</p>  <p>互いの技を撮影し、その場で自分の動きを確認しながら練習を進める。</p>	<p>見比べる・工夫する</p>  <p>自分の技と、友だちの技や模範演技を見比べながら、課題を意識し、発展技や組み合わせ技に挑戦する。</p>
---	---	--

款	教育費	項	社会教育費				
事業名	教育普及事業						
施策の大綱	2-5 心の豊かさやたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり						
施策名	4 文化・芸術活動の振興						
施策の内容	6 博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場活動の充実						
H26決算額	2,772千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
					207千円	2,565千円	

【事業の概要】

上高津貝塚ふるさと歴史の広場では、教育普及事業の更なる充実を図るために、考古資料を活用した特別展や企画展を開催しています。上坂田地区にある武者塚古墳の出土品が平成26年度に国の重要文化財に指定されたことを記念し、特別展を開催しました。

重要文化財指定記念 第13回特別展「武者塚古墳とその時代」
 会期 平成26年10月18日（土）～11月30日（日）来場者数4,459人
 内容 武者塚古墳は、上坂田地区にある7世紀代の古墳です。昭和58年に発掘調査が行われ、古代人の髪の毛（みずら）が発見されたことで、全国的に話題となりました。一緒に発見された銀製の帯状金具、銅製の杓や大刀、絹織物などの出土品も学術的価値が極めて高いことから、重要文化財に指定されました。特別展では、武者塚古墳出土品のほか、周辺の古墳から出土した資料や、出土品との関連がうかがえる法隆寺の資料などを展示し、武者塚古墳から見た7世紀の地域社会の姿を紹介しました。



- ・展示案内会の実施
 平成26年10月18日（土）、11月3日（月）、11月30日（日）

関連事業

- ◎ 重要文化財指定記念シンポジウム「武者塚古墳とその時代」
 開催日 平成26年11月9日（日） 来場者130人
 内容 館長による講演、5人の研究者による基調報告や討論会を行い、様々な角度から武者塚古墳を紹介しました。
 会場 亀城プラザ
- ◎ 武者塚古墳石室の公開
 開催日 平成26年10月26日（日）、11月15日（土）、11月23日（日） 来場者173人
 内容 武者塚古墳は、覆い屋を建て、埋葬施設である石室を保存しています。関連行事として石室を公開し、古墳や石室の構造などの解説を行いました。



武者塚古墳石室

【事業の成果】

武者塚古墳の発掘調査は31年前ですが、みずらの知名度は高く、また、そのほかの出土品についても最新の研究成果に基づいた学術的な価値も紹介したことから、多くの方々に観覧いただきました。また、関連事業として実施したシンポジウムや石室の公開でも多くの参加者があり、生涯学習の推進に寄与しました。

款	教育費	項	社会教育費			
事業名	市民演劇（オペラ）鑑賞事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさやたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	4 文化・芸術活動の振興					
施策の内容	1 芸術文化活動の推進					
H26決算額	1,000千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 1,000千円

【事業の概要】

土浦（新治地区）に語り伝えられる「小野小町伝説」を基に創作されたオペラ「小町百年の恋」～筑波山愛ものがたり～を茨城県オペラ協会が上演するに当たり、公演に掛かる事業費の一部を補助しました。公演には地元の児童・生徒52人や一般市民も村人の役で出演し、合唱に参加しました。

当公演は、前年に上演された同作品のハイライト版に多数の原曲を追加し、室内オーケストラも拡大した「豪華ハイライト版」での開催となりました。

「小町百年の恋」公演記録

開催日	上演時間	会場	観客数
平成26年8月3日（日）	15：00～17：30	土浦市民会館大ホール	約950人



「小町百年の恋」チラシ



市民オペラ「小町百年の恋」フィナーレの場面

【事業の成果】

多くの市民にオペラを鑑賞いただいたことで、市民のオペラに関する理解・関心が高められ、文化意識の向上が図られました。

「小町百年の恋」は本市に縁の深い作品でもあることから、今後も継続して開催することで、市民へのオペラの普及と郷土愛の醸成に努めます。

款	教育費	項	社会教育費				
事業名	放課後児童クラブ・放課後子ども教室推進事業						
施策の大綱	2-5 心の豊かさやたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり						
施策名	3 次代を担う青少年の健全育成						
施策の内容	4 放課後子どもプランの推進						
H26決算額	223,263千円	財源内訳	国県支出金 102,462千円	地方債 11,500千円	その他 37,208千円	一般財源 72,093千円	

【事業の概要】

◎放課後児童クラブ

[児童クラブ室の増設工事]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
東小学校第3児童クラブ室新築工事	25,106	学校敷地内専用クラブ室
中村小学校第3児童クラブ室新築工事	25,899	学校敷地内専用クラブ室
藤沢小学校第2児童クラブ室改修工事	936	学校敷地内専用クラブ室 (修繕料)
大岩田小学校第3児童クラブ室改修工事	540	学校余裕教室 (修繕料)
合計	52,481	

[夏休み期間の4~6年生受け入れ]

入所クラブ数 16クラブ 入所児童数 180人

[その他の経費]

非常勤職員報酬等141,597千円、報償費2,546千円、消耗品費4,243千円、修繕料2,115千円、通信運搬費1,234千円、委託料628千円、工事請負費1,001千円、備品購入費2,108千円、その他2,327千円

※参考資料：児童クラブ入所状況 (単位：人)

年度	小学校 1~3年生	うち児童クラブ 入所児童	入所割合
平成24年度	3,780	1,149	30.40%
平成25年度	3,764	1,211	32.00%
平成26年度	3,570	1,255	35.15%



中村小学校第3児童クラブ室

◎放課後子ども教室推進事業

(単位：人)

実施校	開設年度	登録児童数	委託先
山ノ荘小学校	平成22年度	71	特定非営利活動法人 茨城教育ネットワーク
東小学校	平成23年度	76	特定非営利活動法人 スポーツ健康支援センター
藤沢小学校	平成23年度	102	特定非営利活動法人 茨城教育ネットワーク
上大津東小学校	平成24年度	50	特定非営利活動法人 スポーツ健康支援センター
右廻小学校	平成24年度	40	特定非営利活動法人 World Wide Dreams
都和南小学校	平成25年度	64	特定非営利活動法人 茨城教育ネットワーク
土浦小学校	平成26年度	103	特定非営利活動法人 スポーツ健康支援センター
荒川沖小学校	平成26年度	94	特定非営利活動法人 スポーツ健康支援センター
合計		600	3団体

[経費]

運営委託料12,814千円、放課後子ども教室推進事業運営委員会委員謝金ほか169千円

【事業の成果】

大規模児童クラブの分割、増設及び移設により、児童の衛生面や安全面等の環境整備が図られ、また女性の就労や少子化が進む中、子育てと仕事の両立を支援することができました。

放課後子ども教室については、実施学校の体育館など子どもたちの安全・安心な居場所を設け、放課後にスポーツ、文化活動、地域住民との交流などを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することができました。

款	教育費	項	保健体育費			
事業名	川口運動公園整備事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	5 すべての市民が親しむスポーツ・レクリエーションの振興					
施策の内容	3 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実					
H26決算額	9,944千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,900千円		6,044千円

【事業の概要】

老朽化が著しく狭あいな野球場の観覧席を新設することに加え、平成31年度茨城国体の軟式野球開催に合わせて夜間照明灯を整備するため、地質調査及び実施設計を行いました。

◎施設の概要

- 整備場所：土浦市川口二丁目地内
- 工期：平成27年9月～平成29年5月（現内野観覧席撤去含む。）
- 延床面積：8,294.41㎡
- 建築面積：4,853.54㎡
- 高さ：19.35m（メインスタンド高）
- 構造等：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建て（1階関連諸室，2階観覧席）
- 収容人数：約13,000人（内野約10,000人，外野約3,000人）
- 夜間照明：照明灯4基設置

◎事業費

[平成26年度分]

(単位：千円)

区分	事業費
野球場観覧席改修実施設計委託料	5,300
野球場観覧席改修地質調査委託料	4,644
合計	9,944

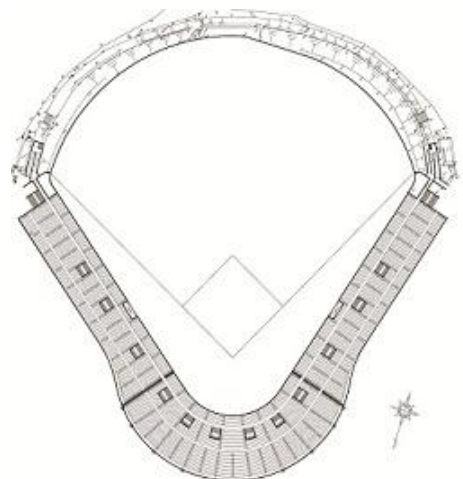
[平成27年度への繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費
野球場観覧席改修実施設計委託料	16,754

◎今後のスケジュール

- 平成27年度：観覧席改修に伴う解体工事
- 平成27年度～29年度
 - ・建築主体工事
 - ・機械設備工事
 - ・電気設備工事
 - ・ナイター照明設備工事
- 平成29年度
 - ・7月供用開始（予定）



川口運動公園野球場 平面図

【事業の成果】

平成29年度の供用開始に向けて、野球場観覧席及び夜間照明灯の整備を進めるための実施設計を行うことにより、川口運動公園野球場の概要を定めることができました。

今後は、利用者の利便性や観客の観戦環境の向上及び安心・安全な大会運営に寄与するため、野球場観覧席及び夜間照明灯を整備していきます。

款	教育費	項	保健体育費			
事業名	(仮称) 荒川沖地区市民運動広場整備事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさやたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	5 すべての市民が親しむスポーツ・レクリエーションの振興					
施策の内容	3 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実					
H26決算額	397,960千円	財源内訳	国県支出金 23,930千円	地方債 275,900千円	その他	一般財源 98,130千円

【事業の概要】

サッカー（大人1面，少年2面）や野球（大人1面，少年2面）等，多目的に利用できる運動広場を整備するため，測量設計を行うとともに，造成及び整備工事を行いました。

◎施設の概要

- 整備場所：土浦市中村西根及び乙戸地内
- 面積：23,119㎡（内借地5,255㎡）
- 供用開始：平成27年9月予定
- 付属設備：トイレ2棟，倉庫2棟，駐車場91台（身障者用2台，マイクロバス用2台含），駐輪場106台

◎事業費

[平成26年度分]

(単位：千円)

区 分	事 業 費
測量設計委託料	3,888
草刈業務委託料	403
造成工事費	32,756
整備工事費（1・2工区）	82,288
建築工事費	26,978
電気設備工事費	12,290
管理施設工事費	20,218
建築確認申請手数料	53
土地賃貸借料	1,724
土地開発基金先行取得分買戻し	217,362
合 計	397,960

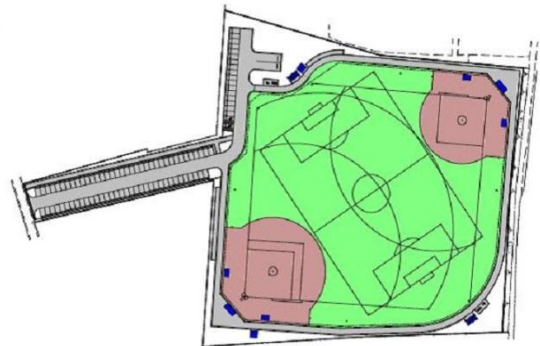
[平成27年度への繰越分]

(単位：千円)

区 分	事 業 費
整備工事費（1・2工区）	137,480

◎今後のスケジュール

- 平成27年度
 - ・9月供用開始
(6～8月は芝生養生期間)
 - ・荒川沖地区野球広場解体撤去
 - ・荒川沖地区野球広場土地返還



(仮称) 荒川沖地区市民運動広場 平面図

【事業の成果】

平成27年9月の供用開始に向けて，造成及び整備工事を行いました。
 今後も引き続き，市民の体力や競技力の向上及び健康の維持・増進に寄与できるような多目的広場の整備を進めていきます。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

事業名	水郷プール再整備事業					
施策の大綱	2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり					
施策名	5 すべての市民が親しむスポーツ・レクリエーションの振興					
施策の内容	3 スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実					
H26決算額	310,289千円	財源内訳	国県支出金 140,942千円	地方債 126,800千円	その他 42,547千円	一般財源

【事業の概要】

東日本大震災により被災し、現在休業している水郷プールについて、現在の場所に規模を縮小して新たにプールを整備するため、新設工事及び監理委託を行いました。

◎施設の概要

- ・流水プール : 延長 270.5m, 幅 6.0m
- ・多目的プール : 25m×8コース
- ・ちびっ子プール : 376㎡
- ・直線スライダー : 延長 30.8m×3レーン
- ・チューブスライダー : 延長 80.7m×1レーン, 延長 50.2m×1レーン
- ・管理棟 : 1棟 (鉄筋造2階建て 899.51㎡)

◎事業費

(単位：千円)

区 分	事 業 費
工事監理委託料	3,321
建築工事費	268,758
機械設備工事費	30,326
電気設備工事費	7,884
合 計	310,289

◎今後のスケジュール

- 平成27年度
 - ・建築工事
 - ・機械設備工事
 - ・電気設備工事
- 平成28年度
 - ・7月供用開始 (予定)



水郷プール イメージ図

【事業の成果】

平成28年7月の供用開始に向けて、建築・機械設備・電気設備工事を行いました。今後も、市民の健康の維持・増進及びスポーツ・レクリエーション施設の充実を図ることを目的に、市民プール再整備事業を進めていきます。

款 災害復旧費 項 文教関係災害復旧費

事業名 指定文化財等災害復旧事業

施策の大綱 2-5 心の豊かさとかくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり

施策名 4 文化・芸術活動の振興

施策の内容 3 文化財の保護と活用

H26決算額	15,507千円	財源内訳	国県支出金 7,797千円	地方債	その他	一般財源 7,710千円
--------	----------	------	------------------	-----	-----	-----------------

【事業の概要】

茨城県指定文化財「矢口家住宅」は、城下町土浦に残された江戸時代後期の貴重な土蔵造の商家建築物です。東日本大震災により被災した所有者に対して、指定文化財を修理復元するための費用の一部を助成しました。

(単位：千円)

年度	決算額	国県支出金	一般財源	工事の概要
平成24年度	9,746	—	9,746	元蔵の解体・基礎工事
平成25年度	4,500	3,613	887	元蔵の復元工事、店蔵・袖蔵の解体
平成26年度	15,507	7,797	7,710	元蔵の復元工事、店蔵・袖蔵の基礎工事

「矢口家住宅」は、店蔵・袖蔵・元蔵の3つの蔵から構成されています。

- ・平成26年度は、元蔵が完成しました。
- ・平成27年度は、店蔵・袖蔵の木工事（建方、屋根工事）・左官工事（荒壁、中塗り、漆喰塗り）を予定しています。



元蔵 完成状況



店蔵・袖蔵 解体工事



解体部材の加工修理



店蔵・袖蔵 基礎工事

【事業の成果】

「矢口家住宅」を復元することにより、まちかど蔵「大徳」「野村」と合わせて、失われつつある城下町土浦の町並景観を維持することが可能となり、次世代に継承されていくことが期待されます。

復元完了の後は、公開ができるよう計画しています。